

乳がん検診ワーキンググループの設置について

1. 経緯

平成 27 年 9 月に「がん検診のあり方に関する検討会中間報告書～乳がん検診及び胃がん検診の検討項目等について～」が出されたことを受け、同年 10 月 26 日開催の広島市がん検診精度管理連絡会議の議題「今後のがん検診のあり方についてご議論いただきたいこと」において、乳がん検診の視触診実施継続の可否及び胃がん検診への胃内視鏡検査導入を挙げた。

平成 28 年 2 月に「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が改正され、胃がん検診に胃内視鏡検査が位置づけられ、乳がん検診において「視触診は推奨しないが、仮に実施する場合は、乳房エックス線検査と併せて実施すること」とされた。同年 3 月 17 日開催の平成 27 年度広島市乳がん検診に係る事務連絡会において視触診実施継続の可否について意見交換を行い慎重であるべきとする見解を得たことから、同年 3 月 28 日開催の広島市がん検診精度管理連絡会議において平成 29 年度は視触診方針である旨を報告した。

平成 28 年 7 月開催の政令指定都市成人保健主管課長会議照会事項において、H28 年度または H29 年度からの視触診廃止を決定している政令市は 4 市であった。

平成 29 年 3 月 16 日開催の平成 28 年度広島市乳がん検診に係る事務連絡会において、視触診継続への疑義が出され、全国的な状況を踏まえつつ本市でのあり方検討を行う方針を表明した。平成 29 年 7 月開催の政令指定都市成人保健主管課長会議照会事項において、視触診廃止している政令市は 10 市であった。

2. 設置目的

平成 30 年度からの乳がん検診のあり方、とくに視触診継続実施の可否について、乳がん診療の専門家及び本市が協議検討を行う。

3. 構成員（順不同）

団体名等・職名	氏 名
広島大学病院 乳腺外科 教授	片岡 健
広島大学病院 乳腺外科 准教授	角舎 学行
中央通り検診クリニック 院長	稲田 陽子
岡本クリニック 院長	岡本 太郎
香川乳腺クリニック 院長	香川 直樹
県立広島病院 消化器・乳腺・移植外科 部長	野間 翠
広島市立広島市民病院 乳腺外科 主任部長	大谷 彰一郎
ひがき乳腺クリニック 院長	檜垣 健二
広島共立病院 医師	高永甲 文男
秋本クリニック 院長	秋本 悦志

4. 検討課題

平成 30 年度からの乳がん検診のあり方、とくに視触診継続実施の可否について

5. スケジュール（予定）

平成 29 年 11 月 第 1 回 ワーキング会議開催（30 年度の方針 検討）

平成 30 年 1 月 第 2 回 ワーキング会議開催（30 年度の方針 決定）